

光と風の輪

第42号

2015.7.1 発行

光：生きがい、歓喜 風：力 輪：仲間、連帯



第12回 長崎県ねんりんピック・生きがい作品展

【長崎県老人クラブ連合会長賞】

〔冬季〕三浦 馨子（諫早市）

も く じ

◆平成27年度事業計画	1	◆単位クラブ紹介	
◆平成27年度収支予算	2	○喜久寿会（佐世保市老連）	9
◆平成27年度役員・評議員	2	◆老人クラブ実態調査結果	10
◆平成27年度市町老連会長研修会	3	◆地域文化伝承館「出展・出演団体」の募集	11
◆若手委員会開催	4	◆第11回銀の翼「新台北3日間」	12
◆女性部会開催	4	◆老人クラブ傷害・賠償保険	13
◆平成27年度長崎県高齢者施策について	5	◆指定宿泊施設一覧	14
◆「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」 に参加して	6	◆市町老連別クラブ数・会員数	15
◆「健康づくり中央セミナー」に参加して	7	◆編集雑感	15
◆「第33回全国老人クラブリーダー 中央セミナー」に参加して	8		

平成27年度

公益財団法人

長崎県老人クラブ
連合会事業計画

☆メインテーマ

「のぼそう！健康寿命、
担おう！地域づくりを」

『事業の重点課題』

- 1 会員増強運動の推進
- 2 若手会員の組織化と
女性会員の登用
- 3 介護予防・健康づくり
高齢者ネットワーク
による地域づくり
- 4 ねんりんピック長崎
2016における地域
文化伝承館事業への協力
- 5

平成27年3月13日の評議員会
及び理事会（3月5日）におい
て、平成27年度の長崎県老人ク
ラブ連合会の事業計画が協議決
定されました。主な行事は次の
とおりです。

平成27年度 県老連の主な行事

開催日	行事	場所
7月	3(金) 地域文化伝承館 出展・出演団体募集説明会 及び市町老連事務局長・事務担当者会議 7(火) 高齢者相互支援事業研修会 9(木)～10(金) 九州ブロック老人クラブリーダー研修会 14(水) 高齢者相互支援事業研修会 28(火) 高齢者相互支援事業研修会 29(水) 高齢者相互支援事業研修会	長崎市(県総合福祉センター) 佐世保市 宮崎県(宮崎観光ホテル) 時津町 小値賀町 新上五島町
9月	3(木)～4(金) 市町老連女性リーダー研修会 10(木)～11(金) 市町老連若手リーダー研修会 15(火)～21(月) 老人週間(15日老人の日、20日社会奉仕の日) 28(月) 健康づくりリーダー養成講習会	島原市(南風楼) 長崎市(海の健康村) 松浦市
10月	6(火) 健康づくりリーダー養成講習会 9(金) 県老連理事会・表彰選考委員会 14(水) 健康づくりリーダー養成講習会 16(金) 地域文化伝承館第2回実行委員会(予定) 地域文化伝承館第3回企画検討委員会(予定) 17(土)～20(火) 第28回全国健康福祉祭やまぐち大会 〔地域文化伝承館 17(土)～19(月)〕 28(水)～29(木) 第44回全国老人クラブ大会	諫早市 長崎市(県総合福祉センター) 平戸市 長崎市(県総合福祉センター) 山口県 山口県 静岡県
11月	5(木) 健康づくりリーダー養成講習会 18(水) 第50回長崎県老人クラブ記念大会 19(木)～20(金) 全老連女性リーダーセミナー 23(月)～25(水) 第11回 「銀の翼」	対馬市 諫早市(文化会館) 東京都(全社協会議室) 台北
平成28年 1月	13(水)～14(木) 在宅福祉を支える友愛活動セミナー 未定 地域文化伝承館第4回企画検討委員会	東京都(全社協会議室) 長崎市(県総合福祉センター)
2月	24(水)～26(金) 第13期健康づくり中央セミナー	神奈川県(ロフォス湘南)
3月	3(木) 県老連理事会 11(金) 県老連評議員会 11(金) 地域文化伝承館第3回実行委員会	長崎市(県総合福祉センター) 長崎市(県総合福祉センター) 長崎市(県総合福祉センター)

平成27年度 収支予算（損益方式）

単位：千円

科 目	予算額	摘 要	科 目	予算額	摘 要
I. 一般正味財産増減の部			2. 経常外増減の部		
1. 経常増減の部			(1) 経常外収益	0	
(1) 経常収益	27,120		(2) 経常外費用	0	
基本財産運用益	79		当期経常外増減額	0	
受取会費	7,339	会 費 7,260 賛助会員会費 79	当期一般正味財産増減額	△ 2,529	
事業収益	4,290	会 員 章 普 及 50 指定宿泊施設 3,000 傷害保険普及 1,240	一般正味財産期首残高	12,000	
受取補助金等	15,232	県 補 助 金 14,472 民間助成金 760	一般正味財産期末残高	9,471	
雑収益	180		II. 指定正味財産増減の部		
(2) 経常費用	29,649		当期一般正味財産増減額	0	
事業費	22,157		指定正味財産期首残高	106,000	
管理費	7,492		指定正味財産期末残高	106,000	
当期経常増減額	△ 2,529		III. 正味財産期末残高		
				115,471	

平成27年度役員・評議員

任期満了に伴う選任により次の体制となりました。

《役員》

会 長

島中 英安（大村市老連）

副会長

金富 竹志（長崎市老連）

寺田 道子（県老連女性部会）新

常務理事

本田 哲朗（県老連事務局）

理 事

相良 綱信（南島原市老連）

小村 省二（佐世保市老連）

峯脇 達郎（五島市老連）

中野 勝利（県老連若手委員会）

上田 彰二（県長寿社会課）

藤原 敬一（県社会福祉協議会）新

監 事

吉本 正光（諫早市老連）

福井 一正（長与町老連）

推薦団体の役員変更等に伴う補欠選任により次の体制となりました。

《評議員》

佐々木光健（長崎市老連）

金子 健夫（佐世保市老連）新

荒木 千鶴（島原市老連）

小谷 富敏（諫早市老連）

山口 鷹士（大村市老連）

田淵 俊雄（平戸市老連）新

永淵 勝幸（松浦市老連）

齋藤 義人（対馬市老連）

山本 義人（杵岐市老連）

清島 康平（五島市老連）

中村 光春（西海市老連）新

脊川 龜史（雲仙市老連）

田中 照身（南島原市老連）

内田 政信（長与町老連）

黒田 博（時津町老連）

奥川 良三（東彼杵町老連）

荻野 行宣（川棚町老連）

小林 正男（波佐見町老連）

近藤 一輝（小値賀町老連）

松野與志晴（佐々町老連）

吉山 勢一（新上五島町老連）

近藤 正治（県老連若手委員会）

道下 敦（県老連女性部会）

佐藤 雅秋（県すこやか長寿財団）新

市町老連会長研修会

●平成27年6月25日～26日
●式見ハイツ（長崎市）

平成27年度第1回評議員会の終了後、15時から市町老連会長及び役員など62名が参加し、開催されました。

＜1日目＞

【行政説明】

長崎県長寿社会課 岳田係長より、介護保険制度の改正について、同課岩本主任技師（保健師）より、介護予防の今後の方向性等について説明がありました。

この中で、「改正に伴い、全国一律に行われていた予防給付（訪問介護・通所介護）は、市町村が取り組む地域支援事業に段階的に移行する。（平成29年度まで）」また、「長崎県は要介護度が軽度の方（要支援1・2）を要介護1）全国と比較して多いので、介護予防への取り組みが重要である」との説明がありました。

【事例発表】

長崎市老連 親和会・井上幸生会長より「仲間づくり活動」について「クラブのモットーは

『残りの人生を楽しく皆で過ごしましょう』としている。会員の皆さんが楽しく遊べる場を設け参加して楽しい行事を実施している。」との発表がありました。また、会長が実践しているテニスボールを使った健康運動が披露されました。

【分散会】

（グループ協議）

テーマ

「会員増強について」等

まず、県老連事務局長より「平成27年6月1日現在老人クラブ会員数・クラブ数に基づき、会員増強運動の1年目の結果等」について説明がありました。

次に、分散会及び全体会の進め方について説明があり、10グループに分かれ、協議・意見交換を行いました。

《協議・意見交換の主な柱》

- ・市町老連及び単位老人クラブの取り組み内容及び成果
- ・成功事例
- ・反省をふまえた次年度の取り組み など

＜2日目＞

【講話】

「高齢者の交通安全」

講師

県警察本部

交通企画課

松竹谷課長補佐

県 交通地域安全課

本田課長補佐

松竹谷課長補佐より、

- ①交通事故の現状
- ②高齢者の交通事故防止指導ポイント
- ③高齢者交通安全3か月大作戦（本年7月～9月）等の説明があり、

本田課長補佐より、

県が作成したDVD「高齢者を交通事故の被害者としないために」を視聴した後、夜間の外出時は明るい服装（特に白色や黄色）に心がけ、反射材を着けることの有効性について説明がありました。

【全体会】（分散会報告）

- ・単位老人クラブでは、町内活動と一体化してゴミ分別作業などに誘い合って活動し、クラブへの参加をうながした。
- ・一人暮らし高齢者の子供から加入の申し出があったので、家族にPRする。
- ・若手には若手会員、女性には女性部会委員が勧誘にあたる。
- ・夫婦加入を中心に勧誘
- ・グループ活動からクラブ加入を働きかけ。
- ・勧誘が一番効果的
- ・老連内に会員増強推進委員会を設置（自治会長・民生委員・老連地区長・学識経験

者）

- ・女性や若手リーダーを副会長等の役員に登用する。
 - ・若手を入会させ、クラブを若返らせる。
 - ・若手が参加できるメニューを用意し、入会しやすい環境をつくる。
 - ・気軽に参加できるような雰囲気作りが必要である。
 - ・クラブの活動を地域住民に広報発信して理解の輪を広げる。
 - ・会員増した単老へ奨励金支給
 - ・会長や役員へのなり手がなく、休会、解散が増えていく。
 - ・首長等にアナウンス（挨拶等で加入を呼びかけ）してもらう。
 - ・地域ケーブルテレビなどで活動状況を広報し理解を得る。
 - ・加入案内を市広報誌に掲載
 - ・広報（かへ新聞など）は必要
 - ・会長など役員だけにまかせるのではなく、自治会長の協力が必要。
 - ・会員一人ひとりの意識が必要
 - ・会長の意識（やる気）で結果がでる。
- ※会員増として数値には表れなかったが、取り組みの成果はでていく。との報告が多くありました。

若手委員会開催

●平成27年5月21日（木）

●県総合福祉センター

任期満了に伴う役員改選が行われ、正副委員長は再任されました。

その後、平成27年度県老連事業計画の説明、平成27年度市町老連若手リーダー研修会（9月10日～11日）の企画及び運営の協議を行いました。

県内の若手委員会の現在の設置状況について事務局から説明があり、関連して、出席者から各市町老連における若手委員会の活動・現状について報告がありました。報告等をふまえ、若手委員会の必要性・重要性の再認識を含め、若手組織の設置に向けた今後の活動等について意見交換を行いました。

また、事務局から平成28年に長崎県において開催される「第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック）」の地域文化伝承館について説明がありました。

平成27年度若手委員会

委員長

中野勝利（諫早市老連）

副委員長

近藤正治（南島原市老連）

三井朝松（長与町老連）

委員

加納 省司（長崎市老連）

川添 修（佐世保市老連）

岩本 三男（島原市老連） 新

前田 満行（大村市老連）

北村 誠一（平戸市老連） 新

青木 掉磨（対馬市老連）

久保田恒憲（杵岐市老連）

上河 恵賜（五島市老連） 新

嵯峨 章（西海市老連） 新

富永 孝司（雲仙市老連）

坂本 忠良（時津町老連） 新

川原 悟（東彼杵町老連） 新

一瀬 義美（川棚町老連） 新

笹川 行雄（波佐見町老連）

福岡 隆（小値賀町老連）

原 嘉登（佐々町老連）

荒木 宏匡（新上五島町老連）

女性部会開催

●平成27年5月29日（金）

●県総合福祉センター

任期満了に伴う役員改選が行われ、部会長には南島原市老連の寺田さん、副部会長には長崎市老連の川口さんが新たに選出され、副部会長の道下さんは、再任されました。

その後、平成27年度県老連事業計画の説明、5月19日に開催された全老連女性代表者会議の参加報告、平成27年度市町老連女性リーダー研修会（9月3日～4日）の企画及び運営について協議を行いました。

また、事務局から平成28年に長崎県において開催される「第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック）」の地域文化伝承館及び来場者に配布する手作り記念品の説明及び記念品選定について意見交換を行いました。

平成27年度女性部会

部会長

寺田 道子（南島原市老連）

副部会長

道下 敦（新上五島町老連）

川口アキヨ（長崎市老連）

部会員

田坂 弘子（佐世保市老連）

村田つる枝（島原市老連） 新

高以来真須美（諫早市老連）

野口喜美子（大村市老連） 新

末永フサエ（平戸市老連）

瀬川 洋子（松浦市老連）

江嶋 慶子（対馬市老連）

井戸川哲子（杵岐市老連）

久保智恵子（五島市老連）

岩本ゆかり（西海市老連） 新

三原 龍子（雲仙市老連） 新

伊藤 圭子（長与町老連）

中山 明美（時津町老連） 新

田崎 光代（東彼杵町老連） 新

森 紘子（川棚町老連）

山口マリ子（波佐見町老連） 新

島田トメ子（小値賀町老連）

馬場マチ子（佐々町老連） 新

平成27年度の長崎県高齢者施策について

長崎県福祉保健部 長寿社会課

会員皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。皆様方におかれましては、老人クラブにおける高齢者自らの生きがいや高め健康づくりを進める活動やボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動にご尽力いただいておりますことに対し感謝申し上げます。

本格的な超高齢社会を迎える中、県においては、高齢者が「自らの知識・技能を生かして、いきいき活躍できる社会」と「住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」を目指して、新たな「老人福祉計画・介護保険事業支援計画」を策定し、本年度からスタートさせました。高齢となっても、いつもお元気で社会活動等に参加していただけますよう、健康づくりや生きがいづくりなど、様々な施策を進めてまいります。

これらの施策の中から、特に老人クラブ活動に関わりの深い、生きがい対策と在宅福祉対

策について、平成27年度の主な事業と予算額をご紹介します。

1. 生きがい対策

生きがい対策につきまして、県老人クラブ連合会、県すこやか長寿財団及び市町との密接な連携のもと、地域社会への積極的な参加やスポーツ・文化活動などを通じた生きがいと健康づくりの諸施策を実施するとともに、元気な高齢者が地域社会の主役として活躍できる仕組みづくりに要する経費として、1億5千185万円を計上しています。

その内訳は

- ① 老人クラブが行う各種の活動、市町老人クラブ連合会や県老人クラブ連合会が行う活動促進への取組や県老人クラブ大会開催等への助成 8千5万円
- ② 老人クラブが研修のための旅行に要した経費への助成 1千万円
- ③ 高齢者の社会活動の普及・啓発、県ねんりんピックなどスポーツ大会の開催、すこやか長寿大学の運営への助成 5千897万円

- ④ 高齢者の社会参加等による生きがい、健康づくりを促進するため、元気な高齢者が地域で活躍することが出来る仕組みづくりを支援 283万円

2. 在宅福祉対策

在宅福祉対策につきまして、介護予防を一層推進するため、市町が実施する地域支援事業を支援するとともに、認知症疾患医療センターの整備や医療従事者向けの研修の実施など、増加する認知症高齢者への対策を充実させ、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療や介護等の多職種の協働により地域課題の把握等を行う「地域ケア会議」の活用を推進し、地域包括支援センターの機能強化を図ることとし、5億8千833万円を計上しています。

その内訳は

- ① 介護実習・普及センター運営事業 1千976万円
- ② 介護予防推進事業 5億1千504万円
- ③ 認知症対策等総合支援事業 4千571万円
- ④ 地域医療・介護総合確保基

- ⑤ 金事業費 546万円
地域包括ケアシステム構築支援事業 236万円

さて、いよいよ来年は、「長崎でひらけ長寿の夢・みらい」をテーマに、「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」を開催いたします。大会期間中は、観客の皆様を含め延べ約50万人という、大変多くの方々の参加が見込まれております。

ながさき大会では、高齢者の皆様元気な生きがいを感じ、人と人とのつながりを大切に、人・産業・地域が輝く、未来へつなげる大会にしたいと考えております。

昨年の「がんばらば国体大会」で培った長崎ならではのおもてなしで、参加していただいた皆様の心に残るような大会となるよう準備を進めてまいります。

県としましても、今後とも、市町及び関係機関・団体と連携を図りながら、各種の施策を総合的に展開してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」に参加して



佐世保市老連
金子 健夫(筆者)



時津町老連
中山 明美

平成27年1月14・15日、東京「新霞ヶ関ビル」にて、全国老人クラブ連合会主催の「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」が開催され、長崎県から2名が出席しました。



厚生労働省老健局振興課稲葉好晴課長補佐から今後の介護保険をとりまく状況について説明がされた。

65歳以上の高齢者数は、2025年3657万人となる。また、75歳以上の全人口に占める割合は増加していく。

65歳以上の高齢者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者が増加する。保険料負担者である40歳以上の人口は、2025年以降は減少する。

保険料の推移については、介護保険事業の第1期は2911円であったものが、2025年度には保険料が8200円になると推計され、介護保険制度の存続が危惧されている。

このような状況を背景として、国は介護保険制度の改正に取り組んでいる。国が目指している改革は、地域住民の参加による生活支援サービスの充実と高齢者の生活支援の担い手としての社会参加活動が求められている。

老人クラブの社会参加活動を強く求められていることを痛感した。

つぎに、講演として、兵庫県宍粟市社会福祉協議会の山本正幸氏から高齢者の暮らしを支える宍粟市社協の地域福祉活動の説明があった。

宍粟市は岡山県に接し、神戸市まで100km、淡路島より広い行政面積を持つ山間の市で、人口4万人、高齢化率30.2%のこと。

小地域福祉活動として、見守りは、まず、知り合って、つながることから。

ふれあい喫茶やサロンなどの交流活動は、見守りを進める第一歩であるとのこと。

長寿社会を迎えた現在、交流活動の重要性が認識された。また、当該地域の特性として、有償福祉移送サービスの必要性を話された。

超高齢社会では、どこの地域でも、地域生活を継続するためには、福祉移送サービスの必要性があると理解された。

最後に、愛知県阿久比町いきいきクラブ連合会・宮津山田達者会の橋口松会長から特色あるクラブ活動について事例発表がされた。

友愛訪問は、2名のチームを作り、民生委員も参加して訪問している。

友愛サロンでは、男性が接客を担当して好評であることなど。

お助けマン活動では、粗大ごみ出しや刃物研ぎ、日用品の買い物代行、パソコン代筆、行政手続き問い合わせ、室内の重い物移動、簡単な大工仕事などを組織的に実施していることを発表された。



この機関誌は**共同募金の配分金**により発行しました。

第12期「健康づくり中央セミナー」に参加して



長崎市老連
加納 省司(筆者)



雲仙市老連
加藤 孝明

全老連主催

平成27年3月2日(月)～4日(水) 神奈川県葉山町「ロフォス湘南」
長崎県より雲仙市老連の加藤孝明さんと2人参加、全国より61名で
した。

今回で12回目の講習会で、これまでに712名が受講されており、
7つの講座がありました。



〈1日目〉

1. 介護予防と老人クラブ

国際医療福祉大学院

竹内 孝仁 教授

認知症にならない様に、「水分を充分に取る」「きちんと食事をする」「30分以上運動する」「便通は大事」の4点に留意する。

認知症が出た人でも、特に「1日1500ml以上の水を飲む」ことに努めて、回復されたとの事例を紹介された。

2. 運動による健康づくり

順天堂大学

武井 正子 名誉教授

みんなで元気なスーパードールド(85歳以上)を目指そう。
筋肉を衰えさせない様「起き上がり」「立つ」「背筋を伸ばす」「足を上げる」の4点を『いきいきクラブ体操』として考えた、体を動かすことで元気になり脳も活性化する体操、体力測定のリ料をたくさんいただきました。

2日目の朝に実技を实地。最初は椅子に座って行ない、その

後、タオルを使った体操を行なった。とても楽しく有効な体操でした。

〈2日目〉

3. 歯、口について

日本歯科医師会

高井 清理事

歯周病は、全身に影響を与える。

美味しく食べる為に口に気を付けよう。

4. 高齢者に多い事故とその予防

東京消防庁

田中 富也 係長

救急搬送者は高齢者が多く、重度の者が多い。転ぶ事故が多く、屋内で発生している。窒息、誤飲も多く、おかゆの様なものでも発生している。食事はゆっくり噛んで、食事の様子にも注意を払うこと。

5. 高齢者の食生活

日本栄養士会

迫和子 理事

主食・主菜・副菜をそろえた食事を取ること。3食しっかり食べて、水分不足に注意しよう。高齢者は特にあまり体重が減ったら危ない。体重は定期的に測定してチェックしよう。

6. 薬の正しい使い方

日本薬剤師会

渡邊 和久 理事

薬はきちんと指示された通りに飲む。誤って飲まない様に保管に気をつけよう。かかりつけの薬局を決め、「おくすり手帳」は必ず提示し、1冊にまとめておくのがよい。

〈3日目〉

7. 上手な医療の受け方

日本医師会

羽鳥 裕 理事

かかりつけの医師を持ち、何でも相談できる様にしておく。喫煙は万病の元、周りの人にも害を与える。健康診断は必ず受けて健康管理に留意し、初期の発見、予防に努めることが大事。

ますます高齢者が増えていき、元気でいることが重要です。健康づくり、介護予防の輪を広げ、健康寿命を伸ばすことに努めよう。

有意義な講習ばかりでした。参加された方々が明るく活発で楽しく講習を受けることができました。本セミナーで学んだことを生かせる様、これから努めなければと思います。

「第33回老人クラブリーダー中央セミナー」に参加して



大村市老連
前田満行(筆者)



雲仙市老連会長
脊川亀史



今年の中央セミナーは、平成27年6月1日～2日、東京「霞が関ビル」にて全国92人参加の下に、全老連が昨年からの推進中の「100万人会員増強運動」を主テーマとして開催された。

初日、厚生省説明では、老健局振興課川部補佐が「介護予防・日常生活支援総合事業」の自主活動として行う生活援助等においては、地域の老人クラブの活動に期待している旨の説明があった。続いて、全老連の齋藤常務理事は、基調報告の中で、
①100万人会員増強運動
(第2年次)の推進

②新地域支援事業に向けての行動提案
をされた。

特にこの中で、老人クラブでこれまで実施してきた「友愛活動」「健康づくり・介護予防活動」の経験を活かして、市町が行う新地域支援事業に地域住民と共に参画しようと強調された。事例発表では、
①茨城県坂東市新町シニアクラブ「社会福祉協議会や町内会の協力を得た会員増強の取り組み」
②鳥取県伯耆町老連

「若手会員の声も取り入れた会員増強運動」

の発表があった。
グループ協議では、16グループに分かれ、
A「単位クラブにおける会員増」
B「連合会における会員増」
をテーマに、参加者が事前に提出していたアンケートを基に意見を出し合い協議した。

2日目、文京学院大中島准教授が、「新地域支援の取り組みと老人クラブ」と題して講演された。
その中で、

①市町老連は自治体の計画を早急に把握し、首長や担当者に老人クラブの活動について説明し、新地域支援事業との関連を再認識してもらう。
②新地域支援事業に取り組みことで、老人クラブの活動が「層活性化し」「100万人会員増強運動」に弾みをつけることになる。
と提案された。これに筆者は目からウロコの感銘を受けた。

全体会では、前日のグループ協議の内容について、2グループから発表があった。

最後に、全老連の齋藤常務理事が、『会員増強問題で消滅や退会するクラブがあるなら、クラブのない地域に自治会と連携し新しいクラブを結成できれば、大きな成果である。』『新地域支援事業では、これから老人クラブに膨大な事業が課せられることになる。』と総括された。

今回のセミナー受講は、新しい発見が幾つもあり大変有意義でした。学んだことを今後のクラブや老連活動に生かしていきたいと思えます。受講の機会を与えていただきありがとうございます。



単位クラブ紹介



喜久寿会
(佐世保市)
会長 江口 雅雄

喜久寿会は、県立佐世保南高校から烏帽子岳へ広がる山裾一帯の住宅街の内、黒髪2の2公会堂前バス停を中心とした地域で、会員数約百人余りを擁するクラブである。

烏帽子に抱かれ 西の岳臨む
木場の名残る古い里いらか連ねて 開けた町に
と喜久寿会音頭(朝永清之氏作詞)に歌われている町並みを呈している。

昭和43年5月、有志による呼びかけで、黒髪町2の2組高齢者の集い世話人会が発足し、クラブ設置に向け準備に入り、翌44年4月老人クラブ喜久寿会が結成され、初代会長に大山茂男氏が就任した。

設立当初は、自治会育成部と



共に資源物収集等地域の奉仕活動を中心に事業を展開して、徐々に活動の輪を広げていった。

その中で、盆栽に興味を持っている会員が、椿盆栽佐世保支部を結成し、盆栽展を開くなど老人会事業として脚光を浴び、現在に至っている。

平成2年からは、資源物の収集。分別事業の一切を老人会が受け持ち、市よりの事業補助金

並びに資源物の料金が喜久寿会の運営資金の一部として充てられることになり、各種事業が更に充実していった。

平成13年10月には、多年にわたる地域環境美化運動の貢献により、金子県知事より表彰された。

四季折々に一泊旅行、日帰り旅行、夏の盆踊り、秋のミニ文化祭等を行っている。

定期的を実施しているのは、交流会、パソコン同好会、茶の湯会、食事会、書道、健康体操などである。交流会では、誕生日会を迎えた会員を、皆で長寿を讃え祝福の言葉を贈り、ささやかな茶菓をいただきながら交流を行っている。

なお、不定期的に作品集を刊行している。

喜久寿会創立35周年記念誌「融和」、40年誌「協調」、平成23年8月「栄光と苦難のはざまで生きた体験集・すばる」を刊行した。

これらの活動状況を会員に報せる目的で、平成20年に広報誌

「喜久寿会便り」を発行し、平成21年7月からは、「喜久寿会かわら版」と改名し発行を続け、現在まで既に70号に達している。

“過ぎ来た道も 暮らしのさ
まも みんなそれぞれ違うけど
今を楽しく 元気に生きる 黒
髪2の2 ハアア 喜久寿会”
(喜久寿会音頭の二節)



老人クラブ実態調査結果

（全国老人クラブ連合会発行「全老連」4月号から）

全老連においては、昨年8月から10月にかけて、全国16都府県・指定都市老連の協力を得て、単位老人クラブと市区町村老連の実態調査が実施されました。

調査結果から単位老人クラブ関係の主なものについてご紹介します。

なお、調査対象は3,585クラブ、回収数は2,215クラブです。

○会員について

・会員の性別

男性4割、女性6割

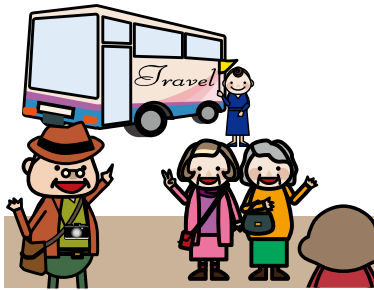
・会員の年齢：70歳台5割、80歳以上4割

・年会費

1,000～1,500円未満が4割

・1年間の会員増減

入会者3,333人、退会者3,999人（逝去者2,000人、退会者1,999人）



○会長・リーダーについて

・会長：男性85%、女性15%
（前回調査より5%増）。

平均年齢77歳

・会長以外のリーダーは平均8名、うち女性が6割

○加入促進の取り組み

・加入促進に取り組むクラブが9割。その方法は「勧誘活動」が多く、次に「町内会への協力依頼」

○協力を得ている団体

町内会・自治会、市区町村行政、社会福祉協議会、警察、公民館

○活動分野別の実施状況（実施率の高い項目）

健康づくり活動	グラウンドゴルフ、健康・介護予防の学習
友愛活動	安否確認・声かけ活動、友愛訪問
奉仕・ボランティア	清掃活動、「社会奉仕の日」の実施、募金の実施・協力
学習・趣味・親睦	新年会・忘年会、親睦旅行、研修旅行・社会見学、趣味等のサークル活動
地域活動	地域行事への参加、交通安全等の事故防止の取り組み、防災に向けた取り組み、地域（子ども）見守りパトロール活動
生産・伝承	昔の遊びの伝承、郷土芸能や祭りの伝承

わがクラブの自慢の活動

ベスト3

①グラウンドゴルフ

②清掃活動

③趣味等のサークル活動

会員が楽しみにしている活動

ベスト3

①グラウンドゴルフ

②新年会・忘年会

③親睦旅行

クラブの活性化のために、これから大切になる取り組み

1 高齢者相互の支え合い・友愛活動

2 健康づくり・介護予防活動

3 若手高齢者に向けた取り組み

4 会員以外の高齢者への呼びかけ

5 地域づくりに向けた取り組み

み

地域文化伝承館 「出展・出演団体」の募集

平成 28 年 10 月 15 日（土）～ 17 日（月）まで、長崎県立総合体育館において、第 29 回全国健康福祉祭ながさき大会「ねんりんピック長崎 2016」の福祉・生きがい関連イベントとして「地域文化伝承館」が開催されます。

地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能や老人クラブ等が日頃取り組んでいる多彩な健康・生きがいづくり活動を紹介・発表していただくものです。

募集内容はつぎのとおりですので、詳細については、市町老連事務局または県老連事務局へお問い合わせ下さい。

○ 会 場

長崎県立総合体育館（長崎市油木町 7 - 1）

○ 発表内容

- ・ 地域文化・生活文化の伝承活動 昔ながらの玩具・遊具を使った体験交流等、民芸・工芸細工、陶芸等の実演・展示
- ・ 地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能の伝承・継承活動 神楽、浄瑠璃、民謡、太鼓等の実演・発表
- ・ 老人クラブ等が創意・工夫を生かして取り組んでいる健康・生きがいづくりの活動

○ 出展ブース団体

- ・ 出 展 期 間 平成 28 年 10 月 15 日（土）～ 平成 28 年 10 月 17 日（月）3 日間
- ・ 募集ブース数 25 ブース（予定）ブースの広さ（横 4 m×奥行 3 m）（予定）
- ・ 募集団体資格 高齢者の知恵や経験・技術が活かされているもの
その場で実演でき、来館者との交流ができるもの
伝統的なもので長崎県らしい、地域色のあるもの

○ ステージ出演団体

- ・ 出 演 期 間 平成 28 年 10 月 15 日（土）～ 平成 28 年 10 月 17 日（月）
3 日間でいずれか 1 日 1 ステージ
- ・ 募集団体数 45 団体、ステージの広さ（横 10 m×奥行 5 m×高さ 0.8 m）（予定）
- ・ 募集団体資格 県内の老人クラブ会員を中心とした団体・グループ又は老人クラブ
会員以外の高齢者を中心とした団体・グループ

○ 申込方法

出展又は出演を希望される団体は、平成 27 年 10 月末日までに所定の申込書により長崎県老人クラブ連合会事務局あてに提出してください

○ 経 費

出展・出演に要する費用（旅費・材料費）については、来年度決定いたします

「第11回銀の翼」

◆お一人様ご参加大歓迎◆



日程	地名	現地時間	交通機関	日 程	朝	昼	夜
1 11/23 (月)	福岡空港 台北空港 台北	10:10 11:25	航空便	出国手続き後、空路台北へ 到着後、入国手続き後、専用車にて移動 台北101展望台へご案内します。その後、人気の街・永康街(ヨウカンチェ)散策。 夕食は小籠包で有名な「鼎泰豊(デインタイフォン)」で点心料理をご堪能ください 【台北泊】	×	○	○
2 11/24 (火)	台 北	午前 午後	専用車	十分老街の散策と天燈飛ばし体験をお楽しみいただけます。 その後、奇岩が立ち並ぶ「野柳風景区」へご案内します。 専用車にて九份へ移動 ノスタルジックな九份の街散策。最近人気の九份ライトアップもお楽しみください。 夕食後、台北へ移動 【台北泊】	○	○	○
3 11/25 (水)	台北空港 福岡空港	13:55 17:05	航空便	淡水見学 いにしへの面影が残る淡水老街散策と、スペイン人が建てたレンガ建築「紅毛城」 を観光後、海岸通りを散策。その後、空港へ移動 出国手続き後、空路帰国の途へ 到着後、入国手続き後。解散	○	○	×

● 概算旅行費用 99,000円

【内訳】

上記行程による交通費(ご自宅～空港は含まず)・宿泊費(洋室2～3名1部屋利用)・食事代(朝2回、昼2回、夕3回)・入場券・現地ガイド・添乗員等を含みます。空港税・航空保険料・燃油付加運賃含みます。(為替レート変動の場合は徴収がございますので予めご了承願致します)

出発までのご案内

<お問合せ・お申込み>

TEL(095)826-9307

①申込方法

お電話又はFAXにてお申込みください。

②旅行費用の送金

お申込みがあった方には請求書を送ります。確認後、お振込下さい。

③しおりのご案内

集合場所、時間等を記した旅のしおりを出発の約2週間前までに郵送致します。

● 日 程 平成27年11月23日(月)～25日(水)

● ホ テ ル 4つ星クラス

● 航空会社 中華航空、エバー航空、キャセイ航空

● 募集人員 20名(最少催行人員15名)★お一人様参加大歓迎

● 取消し料について

◆旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	取消料
①21日目に当たる日以前の解除	無料
②20日目に当たる日以降の解除(③～⑦を除く)	旅行代金の20%
③10日目に当たる日以降の解除(④～⑦を除く)	旅行代金の20%
④7日目に当たる日以降の解除(⑤～⑦を除く)	旅行代金の30%
⑤旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
⑥旅行開始日当日の解除	旅行代金の50%
⑦無連絡不参加及び、旅行開始後の解除	旅行代金の100%

● 申込〆切 9月30日(水)

●詳しい旅行内容は、営業担当者にお問い合わせください



長崎支店

観光庁長官登録旅行業第2号 (社)日本旅行業協会正会員

総合旅行業務取扱管理者 横瀬 修

住 所: 〒850-0036 長崎市五島町5-48

TEL: (095) 826-9307

FAX: (095) 825-8552

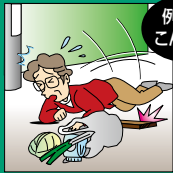
担 当: 横瀬 修、大導寺(だいどうじ)

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

1 傷害保険 総合型

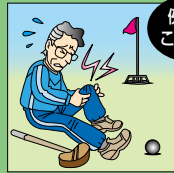
2 傷害保険 活動型

自分がケガをしてしまった時の保険です。



例えば
こんな時
買物の帰りに
ちょっとした段差
につまづき、転んでケガ
をしてしまった。

クラブ活動中だけでなく
日常生活のケガも補償します。



例えば
こんな時
クラブ活動で
ランドゴルフの練
習中に転んで膝を捻挫
してしまいました。

クラブ活動中とその往復途
上のケガを補償します。

対 象：老人クラブ会員なら、年齢制限もなく誰でも加入できます。

補償範囲：総合型と活動型の2種類

掛 金：〈◇総合型〉お一人掛金年額 3,500円、5,000円、10,000円 〈◇活動型〉お一人掛金年額 500円、1,000円、2,000円
※補償の詳細は、「3つの保険ご案内パンフレット」の裏面をご確認ください。

お支払いする保険金：死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金 / 手術保険金 / 通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

中途加入：地元の老人クラブを通して、1年中いつでも加入いただけます。

傷害保険
加入者特典

テラーサポート電話相談

介護関連サービス

⇒ 介護保険制度、ケアプラン等の介護全般に関わる相談

生活支援関連サービス ⇒ 法律、税務、社会保険、暮らしのご相談

※相談先の電話番号は「覚書メモ」(旧「加入者カード」)に記載されています。

クラブの全会員加入が条件です。

3 賠償責任保険

平成27年10月から
一部改定

赤字：改定

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。



例えば
こんな時
公民館の清掃中、
玄関の電灯交換
中に誤って、電灯カ
バーを壊してしまった。



例えば
こんな時
クラブ活動のポー
ル体操で、相手の顔
にボールをぶつけてしま
い眼鏡が壊れて顔にケガ
をさせてしまった。

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物(損壊)の損害補償(車等の事故は、対象外)
○管理下財物(注)の盗難・紛失等
○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)付帯
但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

掛 金：クラブの全会員数×100円【申込クラブの全会員数が30名未満の場合は、
最低引受保険料3,000円を払込みください。】

支払限度額：1億円 ※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、
保険会社が査定いたします。

保険期間：毎年10月1日(午前0時)～翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償保険専用の掛金払込用紙(払込取扱票)
で掛金を払込みください。
(注) 加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」が可能です。

・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の払込みで翌月1日からの加入となります。
但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。

・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。

(注)詳細につきましては、「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」[概要・ご加入の際の注意事項]等をよくお読みください。



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、
資料請求先

◆ 最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。
◆ 不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ
ご相談

受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休)

先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/>

老人クラブ傷害保険

検索

メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769

(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」[概要・ご加入の際の注意事項]等をよくお読みください。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

15-T01154 平成27年6月作成

長崎県老人クラブ連合会指定の宿泊施設 (期間) 平成27年6月～平成28年5月

長崎県老人クラブ連合会指定の宿泊施設です。
単位クラブ等の旅行・研修・会議等に是非ご利用下さい。

※詳細につきましては、直接施設へお問い合わせ下さい。

県名	指定宿泊施設名	住所	電話
長崎県	1 名湯の宿 雲仙いわき旅館	〒 854-0621 雲仙市小浜町雲仙 318	0957-73-3338
	2 雲仙温泉 有明ホテル	〒 854-0621 雲仙市小浜町雲仙 380	0957-73-3206
	3 休暇村 雲仙	〒 854-0501 雲仙市小浜町諏訪の池	0957-74-9131
	4 国民宿舎 青雲荘	〒 854-0621 雲仙市小浜町雲仙 500-1	0957-73-3273
	5 雲仙 富貴屋	〒 854-0621 雲仙市小浜町雲仙 320	0957-73-3211
	6 伊勢屋旅館	〒 854-0514 雲仙市小浜町北本町 905	0957-74-2121
	7 島原温泉 ホテル南風楼	〒 855-0802 島原市弁天町 2 丁目 7331-1	0957-62-5111
	8 東洋九十九ベイホテル	〒 855-0864 島原市秩父が浦町丁 3552-53	0957-62-3111
	9 シーサイド島原	〒 855-0862 島原市新湊 1 丁目 38 番 1	0957-64-2000
	10 雲仙 みかどホテル 本館	〒 859-1501 南島原市深江町甲 5292-2	0957-72-5420
	11 しらはまビーチホテル	〒 859-2502 南島原市口之津町甲字白浜 2829-1	0957-86-3030
	12 原城温泉 真砂	〒 859-2414 南島原市南有馬町丁 133	0957-85-3155
	13 ながさき 式見ハイツ	〒 851-1123 長崎市四杖町 2671-1	095-841-1111
	14 野母崎 海の健康村	〒 851-0505 長崎市野母町 692-1	095-893-1133
	15 いこいの村 長崎	〒 859-0125 諫早市高来町善住寺 1080	0957-32-2902
	16 平戸千里ヶ浜温泉 ホテル蘭風	〒 859-5132 平戸市川内町 55	0950-23-2111
	17 平戸たびら温泉 サムソンホテル	〒 859-4826 平戸市田平町野田免 210-6	0950-57-1110
福岡県	18 リバーサイド つるぎ荘	〒 839-1405 うきは市浮羽町古川 1096-1	0943-77-3181
	19 筑後川温泉 桑之屋	〒 839-1405 うきは市浮羽町古川 1099-10	0943-77-2148
	20 清乃屋	〒 839-1405 うきは市浮羽町古川 1099-3	0943-77-2188
佐賀県	21 旅館 初音荘	〒 843-0304 嬉野市嬉野町岩屋川内甲 340-1	0954-43-3238
	22 和多屋別荘	〒 843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙 738	0954-42-0210
	23 ホテル光陽閣	〒 843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙 730-5	0954-43-0170
熊本県	24 荒木観光ホテル	〒 861-0112 熊本市植木町田底 6	096-274-7201
	25 菊鹿温泉旅館 花富亭	〒 861-0423 山鹿市菊鹿町池永 177	0968-48-3141
	26 つかさの湯	〒 865-0061 玉名市立願寺東段 656-1	0968-72-7777
	27 望月旅館	〒 861-1331 菊池市隈府 1115	0968-25-2185
大分県	28 あまがせ温泉 天龍荘	〒 879-4203 日田市天瀬町湯山 1137	0973-57-2370

市町老連別老人クラブ・会員数の状況

H27. 6. 1 現在

市町名	単位クラブ数		クラブ数増減			会員数			1クラブあたり 会員数	H26.10.1現在 60歳以上人口	加入率 %
	26年	27年	増加	減少	差引	26年	27年	増減			
長崎市	332	322	3	△13	△10	18,126	17,432	△694	54	156,967	11.1
佐世保市	256	258	9	△7	2	14,584	14,439	△145	56	92,392	15.6
島原市	73	73	1	△1	0	3,249	3,290	41	45	18,367	17.9
諫早市	125	125				8,624	8,541	△83	68	47,480	18.0
大村市	67	67	1	△1	0	3,728	3,698	△30	55	27,117	13.6
平戸市	64	62		△2	△2	3,264	3,149	△115	51	14,695	21.4
松浦市	36	36				1,655	1,656	1	46	9,803	16.9
対馬市	101	102	1		1	3,745	3,746	1	37	13,354	28.1
壱岐市	95	95				6,129	6,213	84	65	11,749	52.9
五島市	98	98				4,675	4,565	△110	47	17,191	26.6
西海市	85	84		△1	△1	4,742	4,512	△230	54	12,651	35.7
雲仙市	109	104	1	△6	△5	4,816	4,558	△258	44	17,584	25.9
南島原市	170	171	3	△2	1	7,773	7,614	△159	45	20,896	36.4
長与町	32	32				1,734	1,741	7	54	12,530	13.9
時津町	18	18				1,234	1,262	28	70	8,743	14.4
東彼杵町	21	21				1,903	1,874	△29	89	3,501	53.5
川棚町	28	27		△1	△1	1,736	1,664	△72	62	5,226	31.8
波佐見町	22	22				2,677	2,646	△31	120	5,471	48.4
小値賀町	20	20				1,158	1,119	△39	56	1,490	75.1
佐々町	8	8				399	409	10	51	4,429	9.2
新上五島町	55	55				3,003	2,771	△232	50	9,233	30.0
県計	1,815	1,800	19	△34	△15	98,954	96,899	△2,055	54	510,869	19.0

加入率 = $\frac{\text{H27.6.1 会員数}}{\text{H26.10.1 60歳以上人口}} \times 100$

このたび、長崎県老連はホームページを開設しました。ご覧になりたい方は下記のアドレスにアクセスしてください。

<http://nagasakiukenrouren.web.fc2.com/>

編集雑感

市町老連から会員増強運動における1年目の結果報告がありました。県老連全体では減少数が約4000名から2000名と半減しました。昨年の後半からの取り組みでしたが、会員みなさんの熱心な活動の成果ではないかと思えます。2年目以降、良い結果につながっていくのではないのでしょうか。

県庁においては「ねりんピック長崎2016まで〇〇日前」のカウントダウンボードが点灯を開始しました。

県老連が実施する地域文化伝承館事業も実行委員会、企画検討委員会等を開催し、いよいよ7月から展示及び出演団体の募集を始めました。

例年でも多忙の年度末・年度初めに伝承館事業の準備が重なり、フル稼働した事務局もやっとここまでたどりついたという感じですが。本番まであと1年と数か月、長いのか？短いのか？

光と風の輪 第42号

平成27年7月1日発行

発行 (公財)長崎県老人クラブ連合会

長崎市茂里町3-24

095-846-5000

発行人 島中英安

編集人 本田哲朗

印刷 (株)藤木博英社